

まちづくり

提案・意見

地区の人の話を聞いていると…

元々、三重県出身では無いですが15年以上住んでいます。その中で良く聞くのが『小俣町は伊勢市と合併して衰退した』『合併前に戻してもらいたい』という話。そんな事は簡単には出来ないのはいくら自己中人でも分かりますが、それにしても伊勢市は“市内以外”はほっとかれ過ぎだと感じます。確かに観光収入は大切ですが、他の地域が発展しているのかというと実感は全くと言っていいほど感じません。大手の企業ばかりがどんどん店を出し個人のお店は次々と入れ替わっています。お店の種類も少なく同業者ばかりで飽和状態。完全に潰し合いです。商業のエリアをもっと広くしてもいいのではないのでしょうか？

回答

土地利用に関する都市計画においては、用途地域により、建築物の用途、規模等を規制しています。商業のエリアとしては主に店舗等の建築が考えられますが、規模の制限はあるものの原則建築できない地域は限られており、店舗等の進出を厳しく規制しているわけではございません。

商業エリアの拡大に関しましては、本市のまちづくりとして、急速な人口減少に対応するため、拡散型の都市構造を見直し、一定の商業エリア（伊勢市中心市街地）等を確保しながら都市機能を集約させるコンパクトなまちづくりに取り組んでいるところです。

市内の商業につきましては、新たな出店があるものの、人口減少、交通環境の変化や郊外への大型店の出店、店主の高齢化や後継者難などを要因として、閉店する店が多く見受けられます。

市では、中小企業等の経営の安定、向上を図るため、伊勢商工会議所や伊勢小俣町商工会が行う経営指導事業等に対する支援や、融資の利子に対する補給補助等を行っています。また、商業団体等が自主的に行う地域や団体の個性を活かした商業の活性化に向けた取組に対して支援することで、市内商業の活性化を図っています。また、平成29年度から創業促進補助金を新設し、事業計画に基づく安定経営が可能な方に対して創業に係る費用の一部を補助することにより、市内の創業活動の活性化を図っています。

本市の経済を支える中小企業等の安定的、持続的な経営は、本市の経済の活性化を図るためにも重要であることから、今後も中小企業や創業者への支援を行い、地域における商業の活性化に取り組んでいきたいと考えていますので、ご理解のほどよろしくお願い申し上げます。

担当課

都市計画課、商工労政課（2018年2月回答）〔2/10～16〕

まちづくり

提案・意見

本当に必要だったのか？

過去の市民の声を見させて頂きましたが、市駅前に100mのタワーを立てては？という声に対して『神宮を見下ろすというのは、さすがに…』みたいな内容がありましたが、今はホテルがめっちゃ立ってますよね？どーいう事でしょうか？大体、伊勢市は景観をめっちゃ大切にしていると多くの住民の方から聞いていましたが、今の駅前はずいぶん”伊勢市らしい”のでしょうか？ホテルは少し離れた所でも良かったのでは？そすれば商業エリアも広がり、市内から離れたお店にも観光客が流れ、タクシー会社も利用され景観は守られた様に思います。偉そうですが、今の市駅前は元々は部外者の私でも”無い”と思います。伊勢市の象徴である、あの景観を潰してまでホテルをあんなに建てる必要があったのでしょうか？落胆している住民の方は結構多いです。

回答

伊勢市では平成21年に伊勢市景観計画を策定し、伊勢市らしい景観形成に取り組んでいます。駅前（伊勢市駅南口）周辺は、伊勢志摩地域の玄関口として、賑わいと魅力ある歩行者空間の形成や周辺との調和のとれたまちなみの形成を図ることとしています。

伊勢市駅前の外宮参道は、伊勢市駅から外宮に人の流れを誘導する参道にふさわしい魅力のある景観として、無電柱化や石畳舗装等の道路整備を完了し、緑化などによる潤いのある都市空間の形成を図るなど良好な景観づくりに取り組んでいます。

また、まちづくりの将来像を示す都市マスタープランでは、多様な都市機能を集積し、賑わいを創出するなど中心市街地の活性化等を図ることとし、土地利用に関する都市計画においてもホテルなどの建築が可能な地域としております。

今後も伊勢市駅周辺の中心市街地等を拠点として、賑わいの創出や多様な都市機能を集約させるコンパクトなまちづくりを進めるとともに、伊勢市らしい景観にも配慮しながら取り組んでまいりますので、ご理解賜りますようお願いいたします。

担当課

都市計画課（2018年2月回答） [2/10~16]